

✿ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✿

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ 市立高等学校の生徒たちによる「生徒合同読書会」が行われました

先月の18日（金）、福岡市立高等学校四校の生徒たちによる「生徒合同読書会」（福岡市立高等学校図書館教育研究会主催）が行われました。二学期末の恒例の取り組みとなっている「合同読書会」は今年で8回目を迎えました。上記の研究会では、二年おきに研究会長、事務局校を交代することになっていますが、平成27・28年度は博多工業高等学校が事務局校ということで、博多工業高等学校の学校図書館を会場に実施されました。

「合同読書会の流れ」は下記のとおりです。

- 1 開 会（会長挨拶、日程説明など）
- 2 読書会（14：25～15：50）
- 3 交流会（16：00～16：30）
- 4 まとめ（16：30～16：50）
（読書会のグループ協議内容の発表と
司会校の先生による講評）
- 5 閉 会（生徒代表あいさつなど）



（宮崎信介会長による開会挨拶、その後方は
総合司会役の博多工業高校の生徒たち）

会の冒頭、宮崎会長（博多工業高等学校長）からは、ご自身の読書体験に基づき、「図書委員の活動を通して、たくさんの夢の発信元となってください。」と挨拶がありました。

続いて、博多工業高校の生徒の総合司会のもと、読書会に移りました。4校で役割分担がなされており、読書会の司会は福岡西陵高校、記録は福岡女子高校でした。

読書会用に使われた本は「沈黙」（村上春樹 著）でした。選本は四校の学校司書さんたちが行いました。小説の主人公が高校生なので、参加者は生活体験に根差した意見や考えを出しやすかろうとの思いで選ばれたそうです。

読書会は1グループ約10名で三つの班に分かれて行われました。あらかじめ設定された協議の柱に沿い、司会役の生徒が一人一人の生徒に意見や考えを尋ねていきます。途中、異なる意見や、つけ加えの発言をしたければ、手をあげて発言許可を求めます。どのグループも活発に意見が交換されていました。



（読書会の様子）

読書会の協議の柱は、当日司会を担当する福岡西陵高校の生徒たちが事前に本を熟読した上で、互いに考えを出し合って設定したそうです。その内容は下記のとおりです。

「読書会」での協議の柱

- 1 大沢さんと青木について共感できる場所は？また、その理由は？
- 2 P20～ 青木の行為により、級友や教師たちが大沢さんに対してとった行動についてどう思うか？
- 3 P26～ 電車での場面について
 - ①青木はどう思っているか？
 - ②大沢さんはこの一件後、なぜ沈黙のまま過ごすことにしたのか？
- 4 自分が大沢さんだったら・・・
 - ①このような「強烈な経験」(P29)をしたらどうするか？
 - ②話すことができるか？
- 5 大人になった青木は大沢さんのことをどう思っていると思うか？
- 6 タイトルでもある「沈黙」とは？
- 7 この本を読んで感じたことや、今後の自分に影響を与えることはあるか？

この協議の柱は事前に参加生徒に渡され、参加者は各設問の回答を用意（記入）した上で当日の読書会に臨みました。「私ならこんな風にしていたと思います」とか「青木のこういうところは共感できない」など、次々に意見が述べられていました。司会者は参加者の意見を適宜まとめながら、次の協議の柱に上手につなげていきました。約1時間半という長丁場の読書会でしたが、どの班も「沈黙」に陥ることなく、終始活発に意見が交換されました。

10 分間の休憩の後、交流会が行われました。交流会では担当の福翔高校が企画・準備した活動を三つのグループによる対抗という形で楽しみました。

内容は、福翔高校の生徒が作成したオリジナルの四コマ漫画（といっても三コマまでしか書かれていない）のオチ（四コマ目）をグループでアイデアをだしあって作成する、というものです。その面白さ・オチの奇抜さを最後に先生方が審査し、勝利グループが決まります。



（四コマ目のアイデアを協議中の様子）



（四コマ目を発表している様子）

作成中は、各グループからさかんに笑い声が聞かれました。また、発表する際には、そのマンガの主人公になりきって、表情たっぷりに紹介するなど、さすがは高校生でした。

交流会の後は、司会をふたたび博多工業高校にバトンタッチし、「まとめ」に移りました。まず、参加者全員で「合同読書会」の感想文を記入し、次に、読書会でだされた意見や感想を、それぞれのグループの代表者が発表して、各グループの協議内容を確認しました。

次に、読書会の講評を、司会校である福岡西陵高校の黒岩先生が行いました。黒岩先生からは、「見る視点が変わると、見え方が変わることを実感されたでしょう。多くの視点を持つことにより、より深い見方ができる人になってください。」と話がありました。

閉会行事では、参加生徒を代表して、事務局校の図書委員長から、「感じ方や見方が、人それぞれであることがわかりおもしろかった。今日はたいへん貴重な経験ができました。参加してくれた皆さんに感謝します。」と挨拶があり、閉会となりました。運営にあたった生徒からは、「準備したことを参加したみんなが真剣に取り組んでくれて、うれしかったです。」との声が聞かれました。なお、「合同読書会」の取り組みについては、記録係の福岡女子高校の手で記録集にまとめられるとのことでした。（参加生徒数 27名）



（黒岩先生による講評の様子）

□ ハロー 学校図書館！ ～ 博多工業高校 編 ～

高等学校の学校図書館には、高校以外の先生方はなかなか行く機会が無いと思います。そこで今回は「合同読書会」で訪問した博多工業高等学校の学校図書館を紹介いたします。

高等学校の学校図書館は、規模、蔵書の数・内容、いずれも小学校や中学校との違いが感じられました。学校図書館の場所は特別教室棟の校舎1階奥です。まずは入口（写真右）周りから紹介します。入口に続く掲示板には図書に関する様々な情報がたくさん掲示してあり、学校図書館へと誘う雰囲気が醸し出されています。また、YAブックの紹介等のパンフレットが揃えられた棚が掲示板の下に設置されていました。（写真下左）



入口を入ると、すぐ右側の壁に、新着図書の書架（図書委員のおすすめ本の展示つき）と、人気本ランキングが展示された書架がありました。

（写真右）





(カウンター全景)



(カウンター横のミニ・コーナー)

カウンターの奥にはミーティングや作業が可能な図書委員会室があります。カウンターの横には「ケータイ小説」や「新刊文庫」、「ジブリ・ディズニー」等のコーナーがありました。



(北側の書棚と読者用の机)



(図書館中央部の特設コーナー)

作りつけの書棚は図書館の北側と西側にあります。特に北側の書棚はりっぱなものでした。また、図書館の中央部には、学校司書の中野さんが厳選した「どんな本を読もうか～読書のススメ」、さらに、図書委員展示班のメンバーが話題の本などを集めた「こんな本はいかがですか」というコーナーが設けてあります。



(西側の書棚)



(西側の書棚の例：左から 技術，建築，写真，印刷 の書籍)

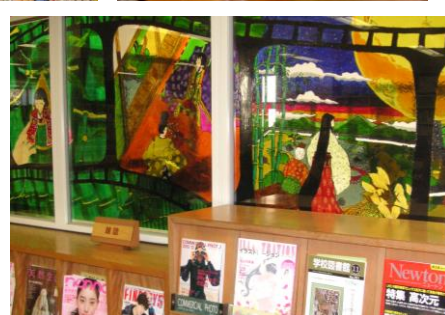


西側の壁は専門的な本の書棚です。博多工業高等学校が設置している6つの科（機械，自動車工学，インテリア，建築，画像工学，電子情報）で学ぶ内容に関する専門書が並んでいる様には、さすがは高等学校だなと思われました。

学校司書さんと図書委員が工夫した特設コーナーは、他にもたくさんあります。（写真下）



さらに館内では、物語をモチーフとした素晴らしいステンドグラス風の窓装飾画が来館者の目を楽しませてくれます。平成21年に当時の図書委員と図書館サポーター員の有志で作製したものだそうです。（写真右）



□ 「スイミー」「モチモチの木」 影絵劇イベントのお知らせ！

少年科学文化会館では、小学生の皆さんなら（小学生でなくとも？）誰もが良く知っている、「スイミー」と「モチモチの木」の音楽物語（劇団 影法師による影絵劇）が1月24日（日）に行われます。児童・生徒だけでなく、先生方もご覧になると授業や学習発表会等のよい参考になるのではないのでしょうか。さらに、この日は、劇団影法師が日本で最初に創作しました「人間影絵（複数の人の身体のいろいろな部分を用いて表現）：このゆびとまれ」も公演されます。公演は1日2回！鑑賞方法は次のとおりです。

○会場：福岡市立少年科学文化会館ホール
（中央区舞鶴2丁目5-27）

○期日：1月24日（日）

- ①（開場 10:40）開 演 11:00
終演予定 12:10
- ②（開場 14:10）開 演 14:30
終演予定 15:40

○入場は無料ですが、整理券が必要。

（開演1時間前から本館1階学習室で配布）

○各回定員：740名（先着順）

* 幼児は保護者同伴が必要です。

* 主催及び問い合わせ先：

福岡市立少年科学文化会館 TEL:771-8861



□ 福岡アジア美術館・福岡市総合図書館からのお知らせ（1月～2月）

＊ 福岡アジア美術館

「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」：1月後半から2月の日程は次のとおりです。

（1 月）24日（日），26日（火）

（2 月）9日（火），14日（日），23日（火），28日（日）

（時 間）11：30～12：00 ／ 13：30～14：00（1日2回）

（会 場）7階「キッズコーナー」 ＊事前の申し込みは不要です。

また、8階図書室では、現在開催中の2つの美術展

＊「日韓近代美術家のまなざし『朝鮮』で描く」展
（12月17日～2月2日：企画ギャラリー）

＊「韓国アート1965－2015」展
（12月17日～4月5日：アジアギャラリー）

に関連した韓国アートに関する本の特集展示（写真右）
が行われています。詳しい内容につきましては、
下記のホームページをご覧ください。

＊「日韓近代美術家のまなざし『朝鮮』で描く」展

☞ <http://faam.city.fukuoka.lg.jp/exhibition/detail/235>

＊「韓国アート 1965－2015」展

☞ <http://faam.city.fukuoka.lg.jp/exhibition/detail/242>



＊ 福岡市総合図書館

毎月の「おはなし会」：1月後半から2月の日程です。

（1 月）24日（日），30日（土），31日（日）

（2 月）6日（土），7日（日），13日（土），14日（日）
20日（土），21日（日），27日（土），28日（日）

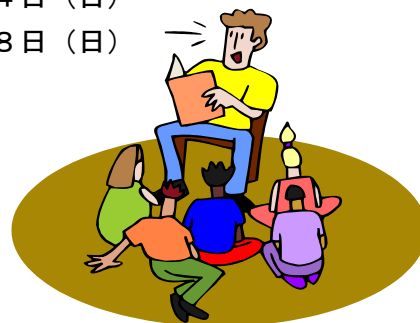
♪ 時間と場所

土曜日：14：30～（幼児向け）

日曜日：14：30～（幼児向け）

15：15～（幼児～小学生向け）

場 所：「こども図書館 おはなしの家」



♪ こども図書館 1月の展示テーマは「和（日本の伝統文化）」，

2月の展示テーマは「レンズをのぞいてみたら」です。

（写真の本を集めて展示）

□ 図書館歳時記 (1月下旬～2月)

* 展示コーナーや催事の際の
参考にどうぞ！

今月は、文学に関連する特記すべき出来事はありませんので、今月生まれの大文学者の中から、次の作家にスポットを当てて紹介します。

♪ ローラ・インガルス・ワイルダー (1867-1957)

ローラ・インガルスという名前を聞いてピンと来なくても、「大草原の小さな家」といえば懐かしく思いだされる方も多いのではないのでしょうか。日本では昭和50年から57年にかけてNHKで放映された、家族愛に満ちたドラマでした。主人公的な役割を担っていた女の子がインガルス家の次女ローラでした。彼女は後年、実生活において、自分の子どもの頃の体験に基づいた家族史的な物語を子ども向けに著しました。それが、「インガルス一家の物語」(Little House Books)シリーズ(全10巻)で、第1作目のタイトルが「大きな森の小さな家」(Little House in the Big Woods)なのです。



✿ 1月・2月の文学関係者たち

♪ 1月・2月生まれの主な文学関係者

1月25日	北原 白秋(1885)	2月 8日	ジュール・ヴェルヌ(1828)
1月27日	ルイス・キャロル(1832)	2月15日	松谷みよ子(1926)
2月 3日	壇 一雄(1912)	2月17日	島崎 藤村(1872)
2月 4日	東野 圭吾(1958)	2月20日	志賀 直哉(1883)
2月 7日	チャールズ・ディケンズ(1812)	2月20日	石川 啄木(1886)
2月 7日	ローラ・インガルス(1867)	2月22日	高浜 虚子(1874)

♪ 1月・2月に亡くなった主な文学関係者

1月28日	A. リット・グレン(2002)	2月 3日	与田 準一(1997)
1月29日	井上 靖(1991)	2月10日	ローラ・インガルス(1957)
		2月28日	松谷みよ子(2015)

☆ 郷土に関わりの深い作家が多い1・2月！

上記の表には、私たちの住む福岡県と関わりの深い文学者が3名含まれています。(中学生・高校生には「わかりますか？」と尋ねてみたいところです。)先生方なら北原 白秋、壇 一雄には、すぐお気づきになれるでしょう。さて、あとの1名、それは児童文学者の与田準一です。与田は現在のみやま市瀬高町に生まれ、筑後市で小学校の先生をしながら、同郷の北原白秋に師事し、その後、児童文学者として大成しました。門下には、まど みちおをはじめ、岩崎京子、あまんきみこ らがいます。「福岡市子どもと本の日」通信 No. 118 の図書館員のひみつの本棚<No. 105>で紹介された「まりーちゃんとひつじ」を翻訳したのも与田準一です。

□ 図書館員のひみつの本棚 《No.117》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが紹介して下さるこのコーナー，今月は幼児向けの本なのですが，中学生・高校生の皆さんには，職場体験等で読み聞かせをする時の一冊にいかがでしょうか，お薦めです！

☆ 今月の「図書館員のひみつの本棚」の本：

『りすともりのあしおと』 こどものとも年少版

2015 年 12 月号

（八百板 洋子／文 ナタリーヤ・チェルーシナ／絵

福音館書店 389円）



♪ あとがきにかえて * * * * *

今年の年始は穏やかな気候にも恵まれ，皆様にはさわやかなお気持ちでお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

受験生にとっては，読みたい本を，じっくり読む時間を確保することは難しかったかもしれませんが，その他の子どもたちはテレビ・ビデオの画面にかじりつくことなく，読書に親しむ時間をもつことはできたでしょうか。

家族がそろう時期は，共読（ともどく）の良さを味わうことができる絶好の機会です。本年も，ぜひ，多くの家庭で，そのような機会が持たれることを願うものです。学校・園からも，そのような機会がもてるようなご支援をよろしくお願いします。

係では「このようなことをします」という各学校・園からの情報を楽しみにしています。喜んで取材にお伺いします。連絡先は下記のとおりです。ぜひ情報をお寄せください。

発 行： 福岡市教育委員会 生涯学習課

電 話： 711-4655 FAX： 733-5538